



週刊 衆議院 安全保障委員長

おにき まこと 誠



議連・パラオ訪問5日目



おにきまこと政治塾 第168講  
安保委員会欧州派遣(後半)

深夜零時にホテルを出発し、帰国の途につきました。コロール空港では、パラオに貯蓄国債を指導している吉野直行慶應大学名誉教授と懇談できました。パラオは国内に銀行を持っていないため、国内の貯蓄は全て外資の銀行に預けられ海外で運用されています。パラオ国民のお金をパラオのために運用する仕組みが貯蓄国債です。

深夜3時にコロールを出発し、2時間でグアム着。

グアムを6時に出発し10時に成田空港に到着しました。成田空港にて簡単にパラオ議連の解団式を行いました。成田から福岡に帰る便もあるのですが、成田から靖国神社へ向かいました。「日本に帰りたい」と願い続けて亡くなったペリリュー島戦死者の御霊を、靖国神社にお届けするためです。

靖国神社への昇殿参拝を終えて私個人のミッションも終了。羽田に向かい福岡へ帰り、夜の行事や夏祭りに参加しました。

2023年7月12日から21日の10日間、衆議院安全保障委員会は欧州に派遣され、安全保障について調査を行いました。

前回の政治塾では(前編)として、フランス、ベルギー(NATO本部)での調査について報告しましたが、今回はイギリス、イタリア訪問について報告します。イギリスとイタリアは、日本が第6世代戦闘機を共同開発するパートナー国です。

戦後民間旅客機すら作れずにいる日本が、戦闘機を自国で生産・改修できるようになるという大転換点になります。

イギリスでは軍による世界最大級のエアショーRIATを視察しました。

イギリス・イタリア両国の防衛産業や議会・政府要人と意見交換し、イタリアでは国防大臣と会談を行いました。

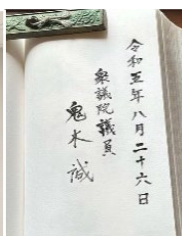
日本と欧州が直面する脅威の共通点と相違点を洗い出し、それらの脅威にどう備えるか、

具体的な装備品から国家安全保障戦略まで議論を重ねてきました。

この派遣を通じて得られた、今後の日本の防衛装備やNATOとの協力態勢について解説します。



吉野直行慶應大学名誉教授と折笠弘維パラオ大使と懇談



令和五年八月二十六日  
衆議院議員  
鬼木誠



靖国神社昇殿参拝

日時：9月17日(日)18時00分～20時00分

場所：市民福祉プラザ・ふくふくプラザ

福岡市中央区荒戸3-3-39

092-731-2929

会費：一般2,000円 学生1,000円

(自民党学生部に所属する学生は毎回無料とします)